

第 2 章 まちのポテンシャル

1 土地利用

(1) まちづくりの変遷

時代とともに、人や物が行き交う拠点は、相模川周辺から本厚木駅周辺へと転換してきています。

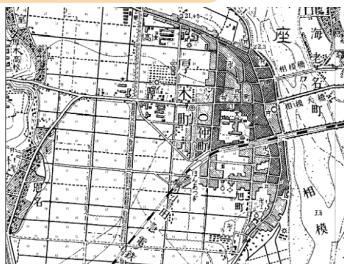
幕末～大正 人・物が行き交う「小江戸」として発展



〔主な出来事〕

- ・愛甲郡役所設置(明治 11 年)
- ・相模橋の開通で、渡船場(厚木の渡し)廃止(明治 41 年)
- ・繭糸取引所設立(大正 11 年)

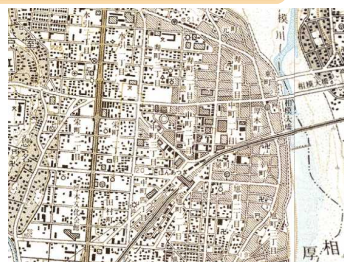
昭和初期～中期 小田急小田原線開通による基盤整備の始まり



〔主な出来事〕

- ・相模厚木駅設置(昭和 2 年)
- ・第 1 回鮎まつり(昭和 22 年)
- ・町村合併で厚木市誕生(昭和 30 年)
- ・相模大橋開通(昭和 30 年)
- ・本厚木駅駅前土地区画整理事業(昭和 30～35 年)

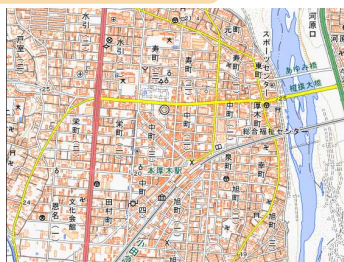
昭和中期～平成初期 現在の都市基盤形成



〔主な出来事〕

- ・都市計画の線引き(昭和 45 年)
- ・本厚木駅南部土地区画整理事業(昭和 40～56 年)
- ・本厚木駅高架事業(昭和 52 年)
- ・市街地再開発事業(昭和 56 年～)
- ・厚木中央公園全面オープン(平成 9 年)

平成中期～現在 歩いて楽しいまちづくり



〔主な出来事〕

- ・都市再生緊急整備地域指定(平成 16 年)
- ・無電柱化推進(平成 18 年～)
- ・アミューあつぎオープン(平成 26 年)
- ・本厚木駅南口地区市街地再開発事業(令和 3 年)
- ・商店街や小田急電鉄等がジャズナイト、ハロウィーン等のイベント開催

※本資料内の地図は、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(©谷 謙二)により作成したものです。

(2) 地形

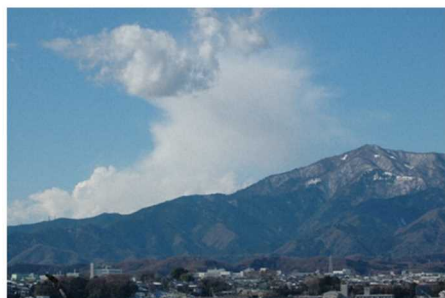
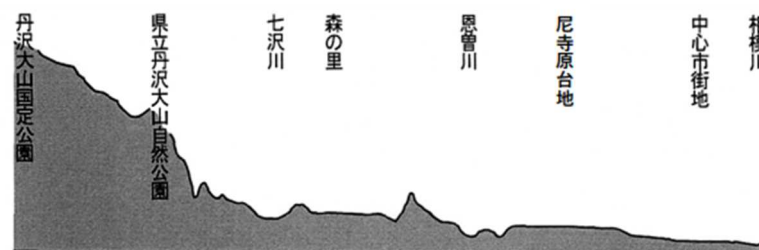
北西に丹沢山地、東に相模川が位置し、本厚木駅を中心とした扇状の地形が広がっています。

■ 3D表示で見た厚木市主要部の地形



出典：地理院地図3D（国土地理院HP）に地名等を加筆 ※高さ方向を強調しています。

変化に富んだ本市の地形



大山の風景



相模川の風景

出典：都市計画マスタープラン（R3）

(3) 土地利用

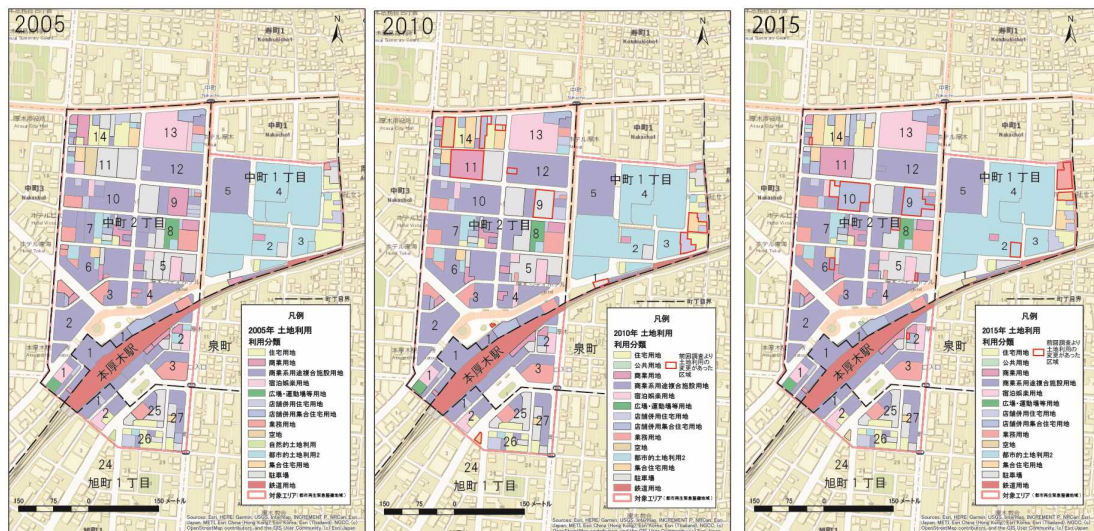
本厚木駅や複合施設整備予定地、現本庁舎敷地の周辺を中心に、大規模商業施設や駅前広場、都市公園などの都市機能が集積しています。



--- 都市再生緊急整備地域

(4) 都市再生緊急整備地域¹²内の土地利用

- 都市再生緊急整備地域内では、戸建住宅や商業目的の土地利用が減少傾向にあり、商業機能一体型を含む集合住宅の土地利用が増加傾向にあることから、まちなか居住が進展しています。
- 駐車場などの空地は減少傾向にあります。中町二丁目を中心に比較的規模の大きい平面駐車場があります。



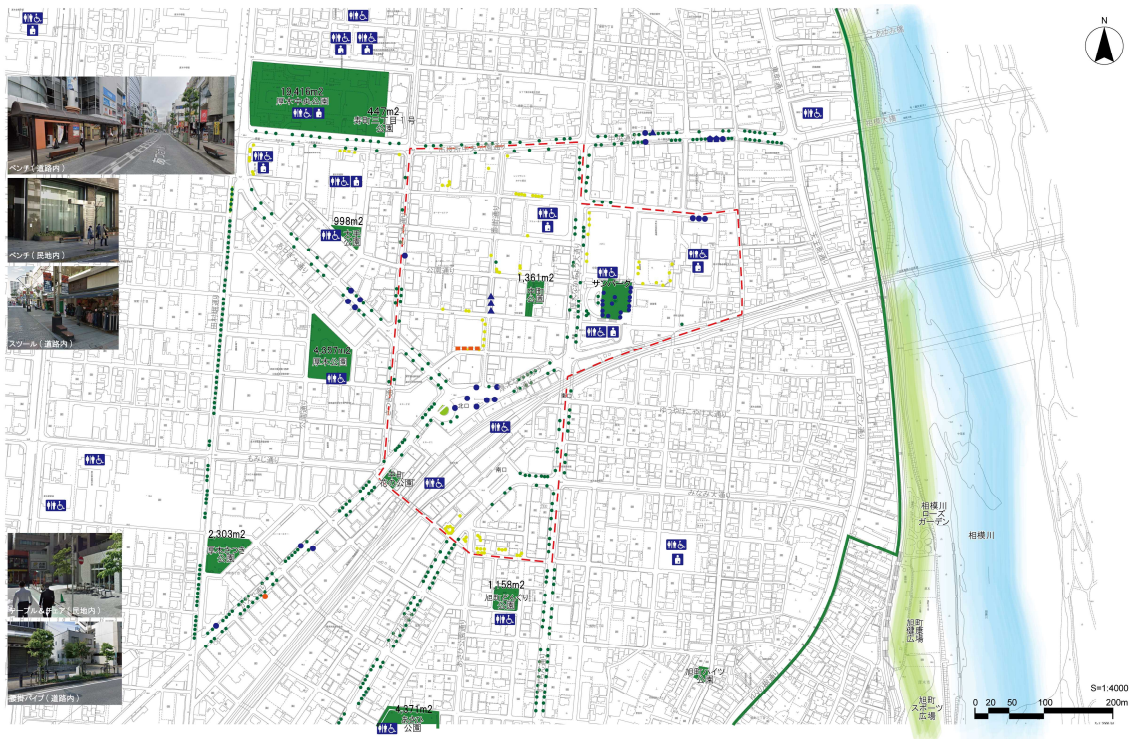
分類		H17(2005)年	H22(2010)年	H27(2015)年	
自然的土地利用		0.07%	0.00%	0.00%	
	住宅用地	4.26%	3.01%	2.74%	▼
都市的土地利用	集合住宅用地	0.79%	1.69%	2.24%	△
	店舗併用住宅用地	1.99%	2.08%	1.94%	
	店舗併用集合住宅用地	1.37%	1.94%	4.27%	△
	業務用地	3.81%	3.86%	4.42%	△
	商業用地	3.26%	3.24%	3.22%	▼
	宿泊娯楽用地	4.65%	4.44%	4.51%	▼
	商業系用途複合施設用地	25.54%	25.66%	24.45%	▼
	公共用地	0.00%	0.02%	0.02%	
	広場・運動場等用地	0.74%	0.74%	0.74%	
	空地（駐車場除く）	0.53%	0.64%	0.39%	▼
	空地（駐車場）	7.97%	7.79%	6.56%	▼
	道路	25.85%	25.97%	25.57%	
	鉄道用地	4.76%	4.76%	4.76%	
	その他	14.42%	14.15%	14.17%	
計		100.00%	100.00%	100.00%	

都市計画基礎調査から作成

¹² P1 注釈1 参照

(5) 緑・水・休憩施設

- ❑ 土地区画整理事業等で整備された 1,000 m²以上の緑豊かな都市公園が複数あります。
- ❑ 大通りを中心に街路樹が植栽されていますが、配植間隔が広く樹冠幅も小さいため、歩行を助ける日陰ができにくくなっています。一部の街路樹には、夕方にムクドリが集まり、騒音やフンで歩行者が歩きにくくなっています。
- ❑ 路線バスのバス停にはベンチが設置されていますが、その他の歩道や民地内のオープンスペースには歩行時に休憩できる施設（ベンチ等）が多くありません。
- ❑ 中心市街地の東側には自然豊かな相模川が流れていますが、中心市街地と相模川を結ぶ分かりやすい歩行者動線がありません。



● 街路樹
● 民地内樹木
— 緑化重点地区

※緑化重点地区の範囲は、厚木市「厚木市緑の基本計画」H29.10 p.154
※公園面積は、厚木市 HP を参照した。

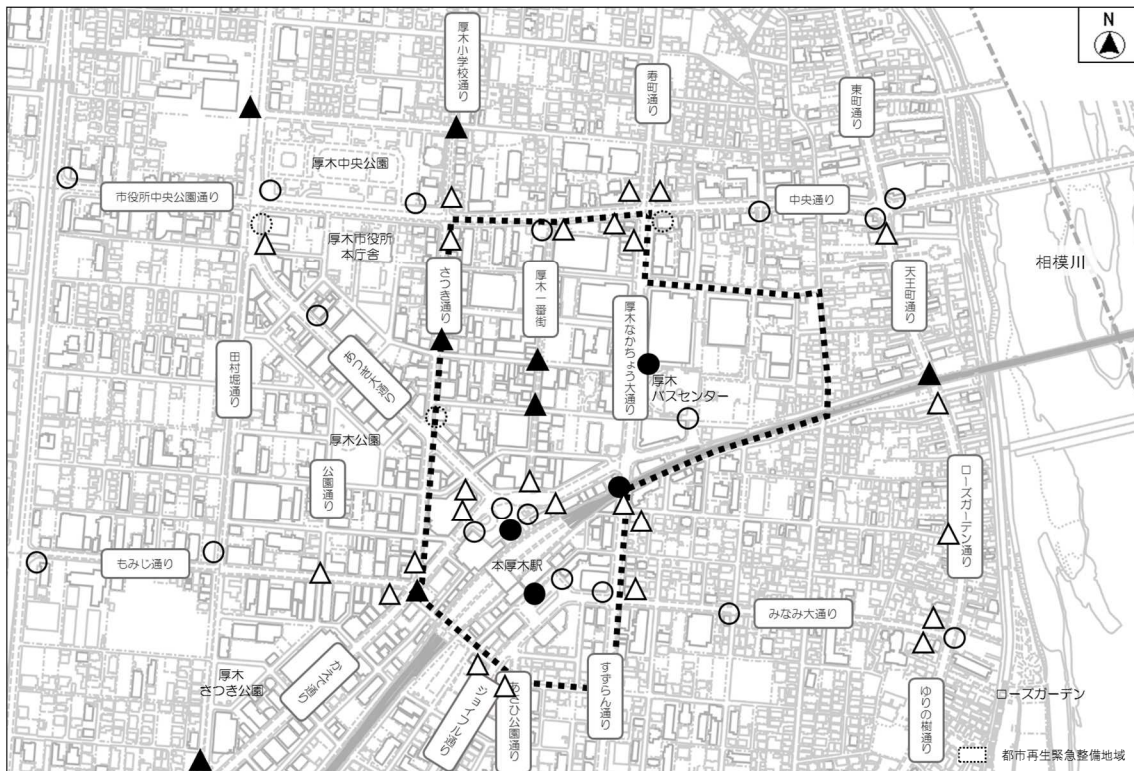
● ベンチ（道路内）
● ベンチ（民地内）
▲ スツール（道路内）
■ テーブル&チェア（民地内）
◆ 腰掛パイプ（道路内）

障害設備設置トイレ
オストメイト

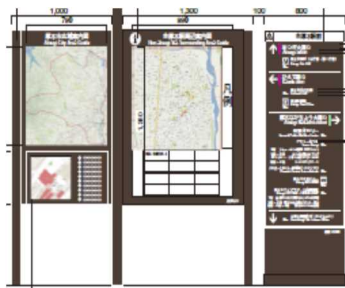
※トイレ位置は、シティマップナビタ 2020 及び WEB、施設へのヒアリング等により調査した。

--- 都市再生緊急整備地域

(参考) 都市サインの整備状況



●拠点サイン



○案内サイン①



○案内サイン②



▲矢羽根型誘導サイン



△通り名サイン

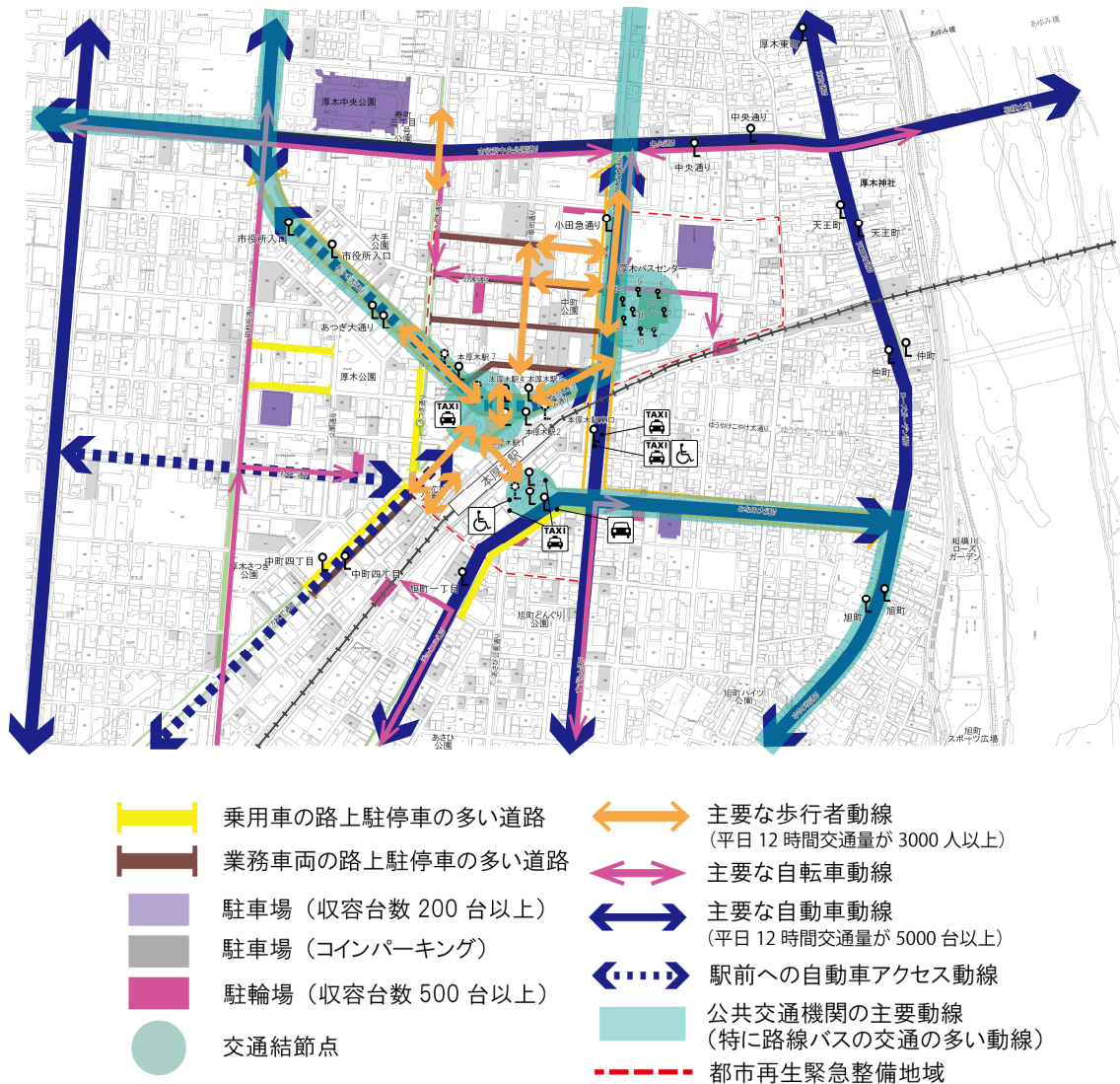


市都市計画課資料から作成

2 交通

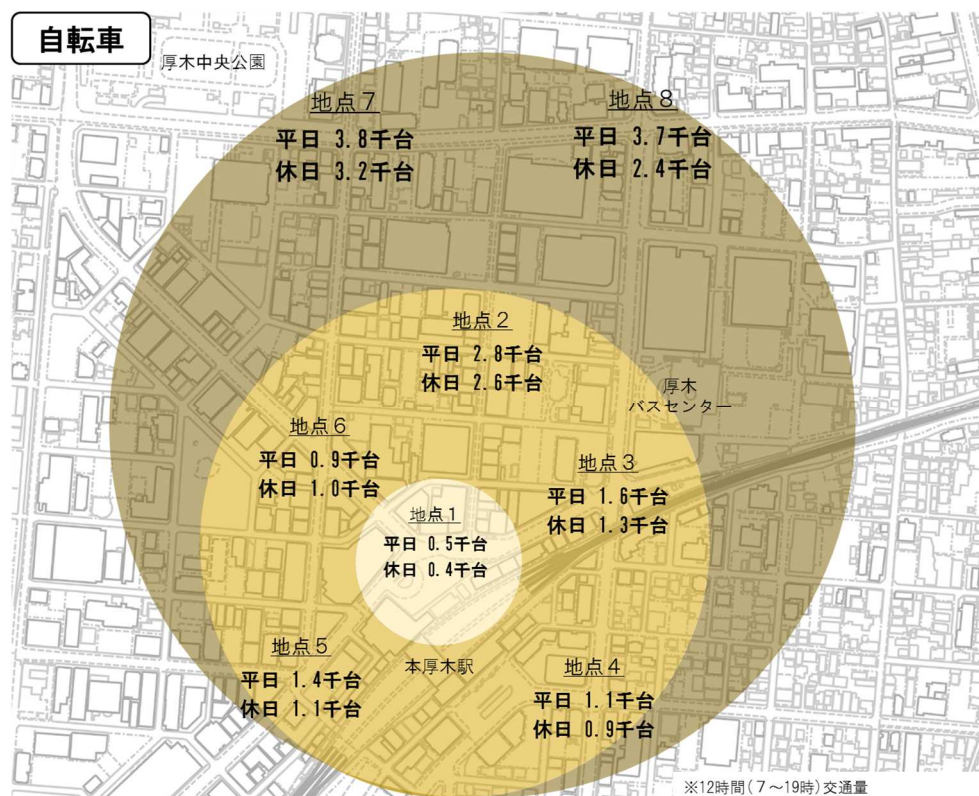
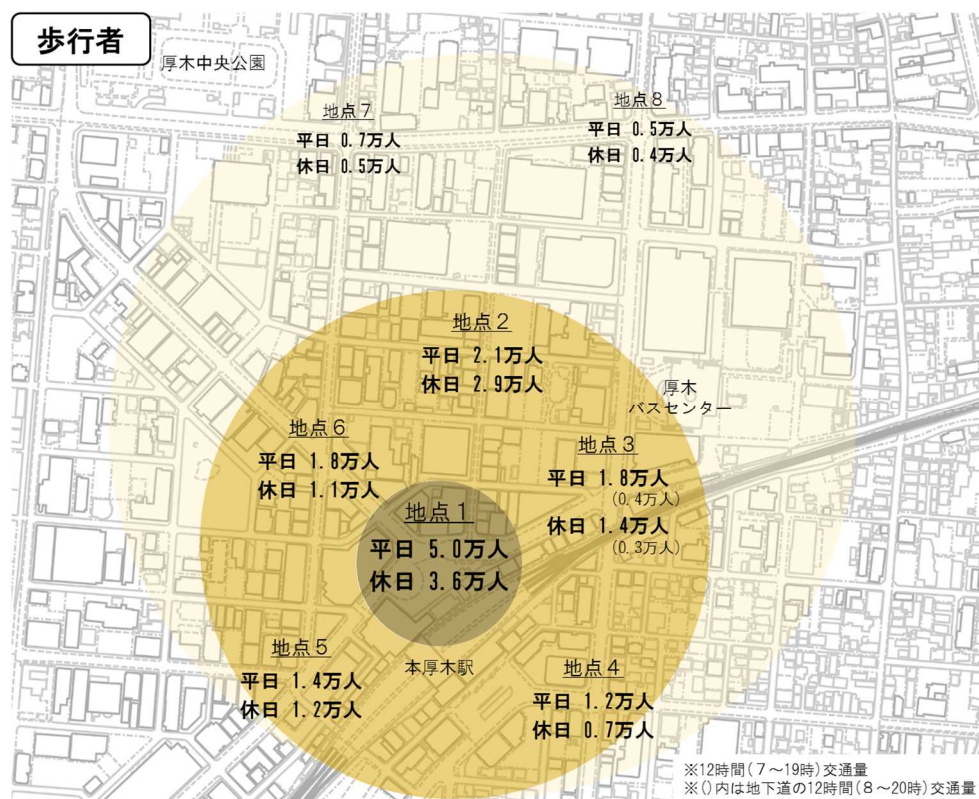
(1) 主要な交通動線

- 本厚木駅と厚木バスセンターの2つの交通結節点を中心に、人や車の流れが生まれています。
- 自動車は国道や県道に、路線バスと歩行者は駅や交通結節点周辺に集中しています。
- 駐輪場が駅から比較的離れた場所に多くあるため、駅前への自転車の流入は少なくなっています。



交通量調査及び現地調査から作成

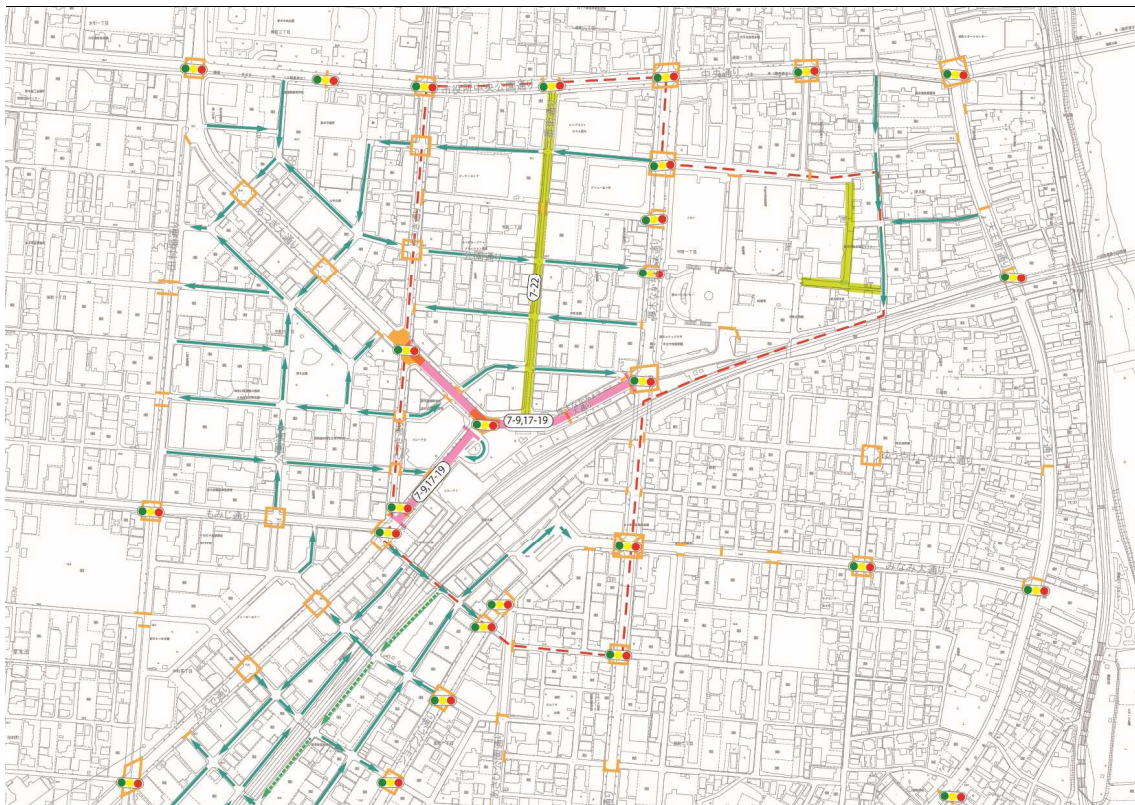
(参考) 歩行者や自転車の交通量分布



交通量調査から作成

(2) 交通規制

- 本厚木駅北口駅前の道路では、通勤通学時間帯における歩行者や路線バスの安全かつ快適な移動を可能にするため、午前7～9時と午後5～7時に一般車の進入を制限し、トランジットモール¹³に近い運用が行われています。
- 歩行者の安全を確保するため、歩道のない道路の多くで一方通行規制が行われており、一部の道路は自転車も規制の対象となっています。

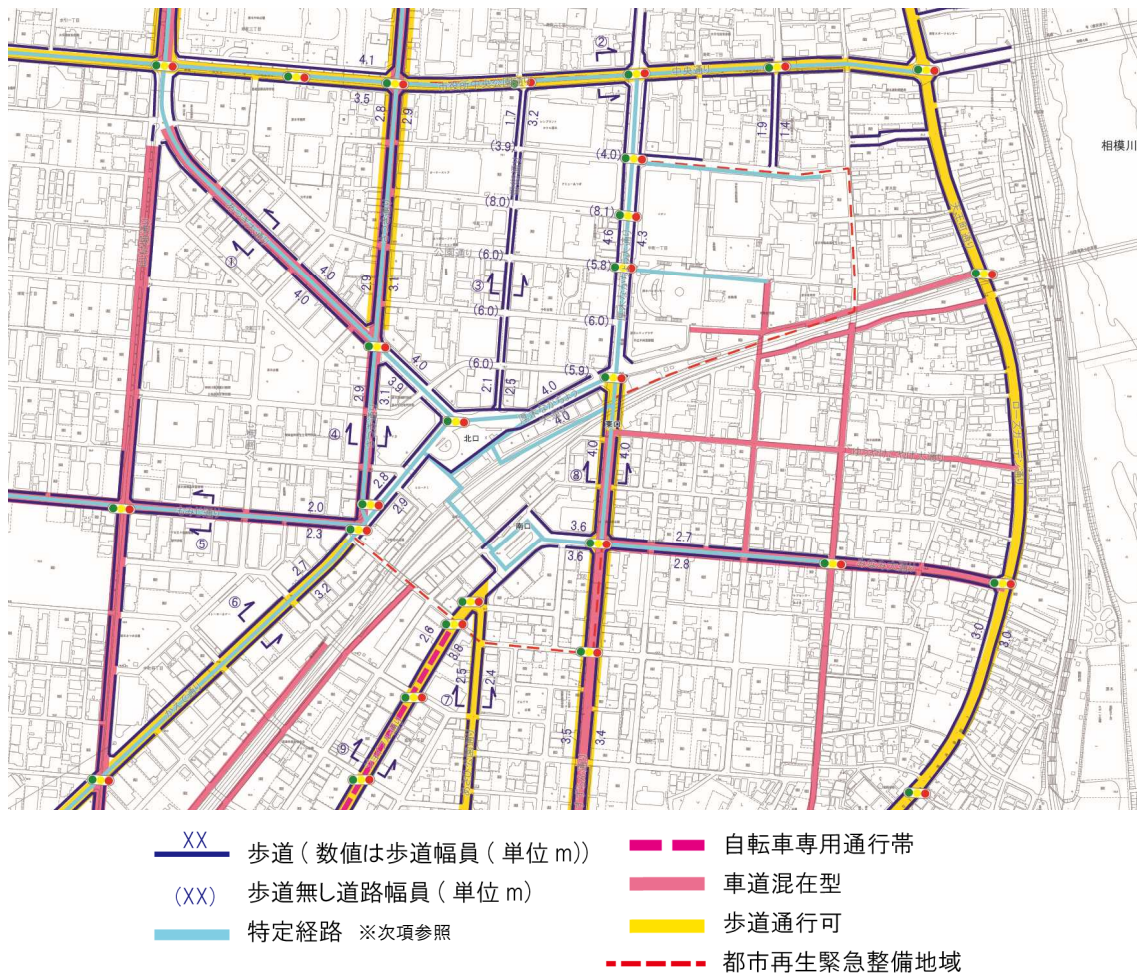


- | | |
|----------------|------------------|
| ← 一方通行方向 | 歩行者専用道路（一部時間帯規制） |
| ← 自転車を除く一方通行方向 | 一般車の時間帯規制 |
| ●●● 信号機 | 規制時間帯 (XX-XX) |
| — 横断歩道 | 都市再生緊急整備地域 |

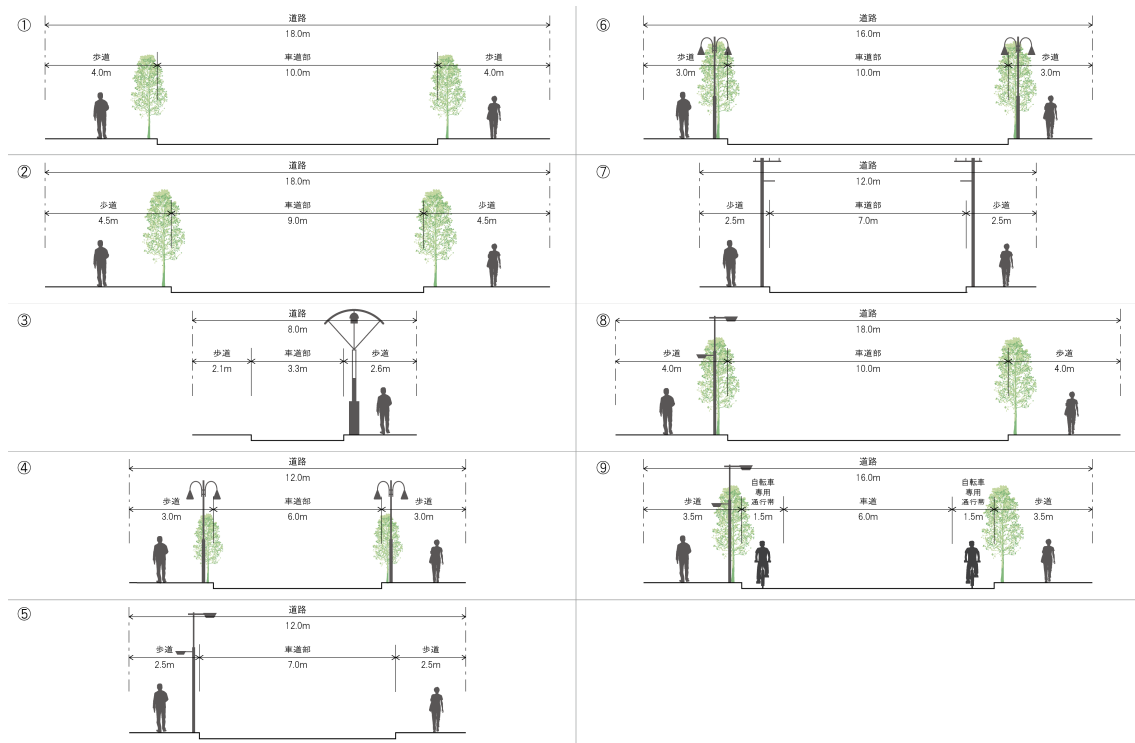
¹³ P11 注釈 11 参照

(3) 歩道・自転車道

- 大通りには、幅員 3～4 m の歩道が整備されていますが、歩行者が集中する駅前、電柱等が道路内にある場所では歩行者空間が不足しています。
- 滑りやすいタイルや凹凸のある路面等で歩きにくい場所があります。
- インフラ（ガスや水道など）の埋設工事や緊急的な補修等で道路景観に統一感がない場所があります。
- 道路幅員が限られているため、自転車専用通行帯¹⁴は本厚木駅南口側の一部区間のみに整備されており、自動車交通量の多い道路では、交通事故の発生リスクが高くなっています。



¹⁴ 車道内に設けられた自転車が専用で通行する部分（原則、幅員 1.5m 以上）



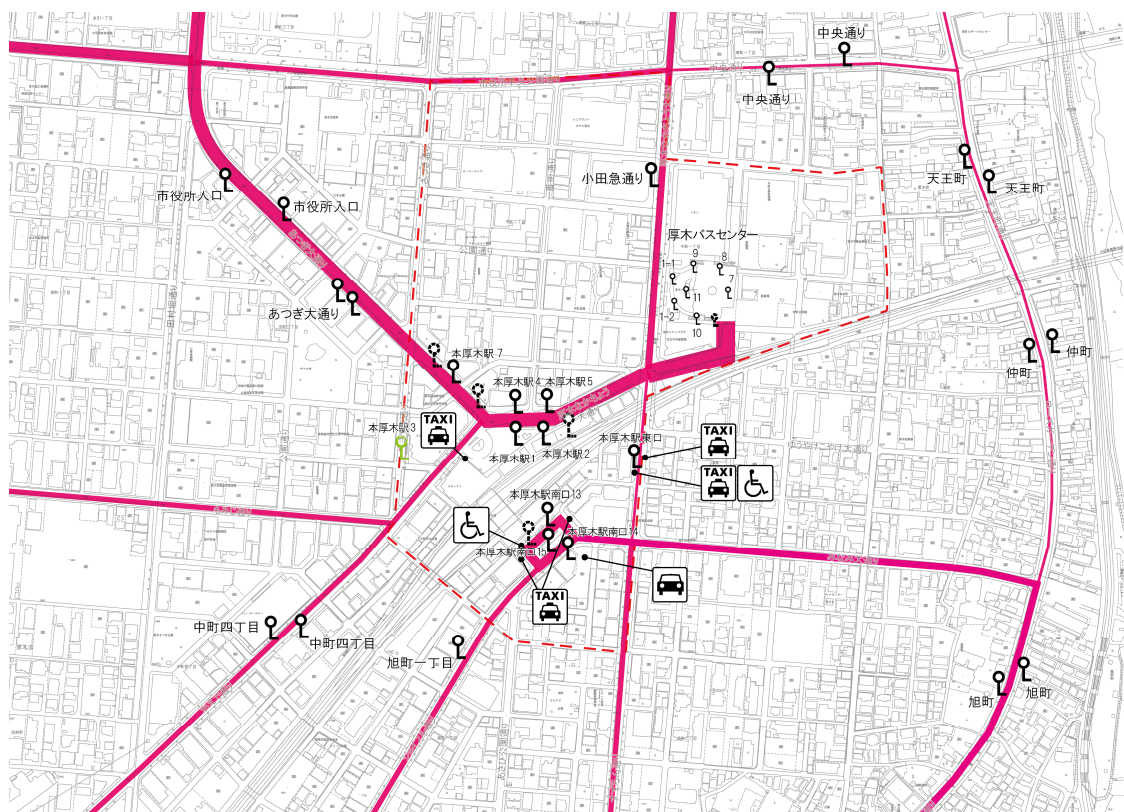
移動円滑化基本構想(H15)、第8次道路整備三箇年計画(H30)等から作成

※特定経路とは、移動円滑化基本構想(平成15年)に定められている高齢者、身体障がい者等を含む市民利用の多い施設までを結ぶ経路及び経路間を結ぶ経路です。

※幅員は概ねの値であり、照明や樹木の大きさや形はイメージです。

(4) 公共交通

- 本厚木駅北口側の駅前広場には路線バスやタクシーの乗降場が、厚木バスセンターには路線バスの乗降場が設置されています。本厚木駅周辺を走行する路線バスの多くが北口側を起終点としており、依知や荻野、小鮎、森の里地区などへの移動手段となっています。
- 本厚木駅南口側の駅前広場は、組合施行による本厚木駅南口地区市街地再開発事業により令和3年3月にリニューアルが完了し、路線バスやタクシー、一般車の乗降場（障がい者用停車施設を含む。）が設置されています。路線バスは、相川地区や平塚駅方面への移動手段となっています。



- | | | | |
|---|----------------------------|---|------------|
|  | 路線バスルート
※線が太いほど、運行台数が多い |  | タクシー乗降場 |
|  | 路線バス停留所 |  | 障がい者用停車施設 |
|  | 路線バス停留所（降車専用） |  | 一般車用乗降場 |
|  | 高速バス停留所 |  | 都市再生緊急整備地域 |

(参考) 本厚木駅周辺における公共交通の現状と課題

現 状

	路線バス	高速バス	タクシー
配置	①北口駅前広場 ②厚木バスセンター ③南口駅前広場	本厚木駅 3 番乗り場 (小田急ミロード 2 西側)	①北口駅前広場 ②南口駅前広場
事業者	神奈川中央交通	神奈川中央交通西 京浜急行バス 京成バス 東武バスウエスト 西日本 JR バス 富士急湘南バス 奈良交通	神奈中タクシー 東横交通 厚木相中 個人タクシー
運行台数	①約 1,500 台/日 (H28) ②約 1,700 台/日 (H28) ③約 400 台/日 (H28)	約 50 台/日 (R2)	①約 600 台/12h (H23) ②約 200 台/12h (R3)
乗降客数	①約 22,000 人/日 (H28) ②約 16,000 人/日 (H28) ③約 7,600 人/日 (H28)	約 400 人/12h (H30)	①約 900 人/12h (H30) ②約 350 人/12h ¹⁵
バース数	①乗車 4、降車 1、待機 0 ②乗車 7、降車 1、待機 0 ③乗車 3、降車 1、待機 0	乗降待機兼用 1	①乗車 1、降車 0、待機 23 ②乗車 2、降車 1、待機 9

交通マスタープラン (R3) 等から作成

¹⁵ 北口駅前広場におけるタクシーの利用状況から推計 (900 人 ÷ 600 台 × 200 台)

課 題

①乗り場の分散【対象：路線バス】

- 下表の「緑字」の路線バス系統は、時間帯によって起点が変わる変則的な運用がされています。
- 下表の「青字」の路線バス系統は、北口駅前広場又は厚木バスセンターからしか乗車できません。

(参考)バス乗り場別の主な行先

北口駅前広場

1 番	荻野（半原、まつかげ台、松蓮寺等）、依知（猿ヶ島、原当麻）、森の里方面
2 番	緑ヶ丘、小鮎（工芸大等）、森の里方面
3 番	羽田空港、成田空港、主要都市方面 【高速バス】
4 番	依知方面（春日台団地）
5 番	小鮎（宮の里、上飯山、宮ヶ瀬等）、南毛利方面

厚木バスセンター

1-1 番	荻野（半原、まつかげ台、鷲尾団地等）、相川（アクスト）方面
1-2 番	荻野（松蓮寺、神奈川工科大等）、依知（郷土博物館）方面
7 番	小鮎（工芸大）、緑ヶ丘（王子）方面
8 番	緑ヶ丘方面
9 番	玉川、森の里方面
10 番	依知（春日台、長坂、猿ヶ島等）方面
11 番	小鮎（上古沢等）、南毛利方面

※バス停の位置は、P24 参照

②乗降場の不足【対象：路線バス】

③待機場所の不足【対象：路線バス】

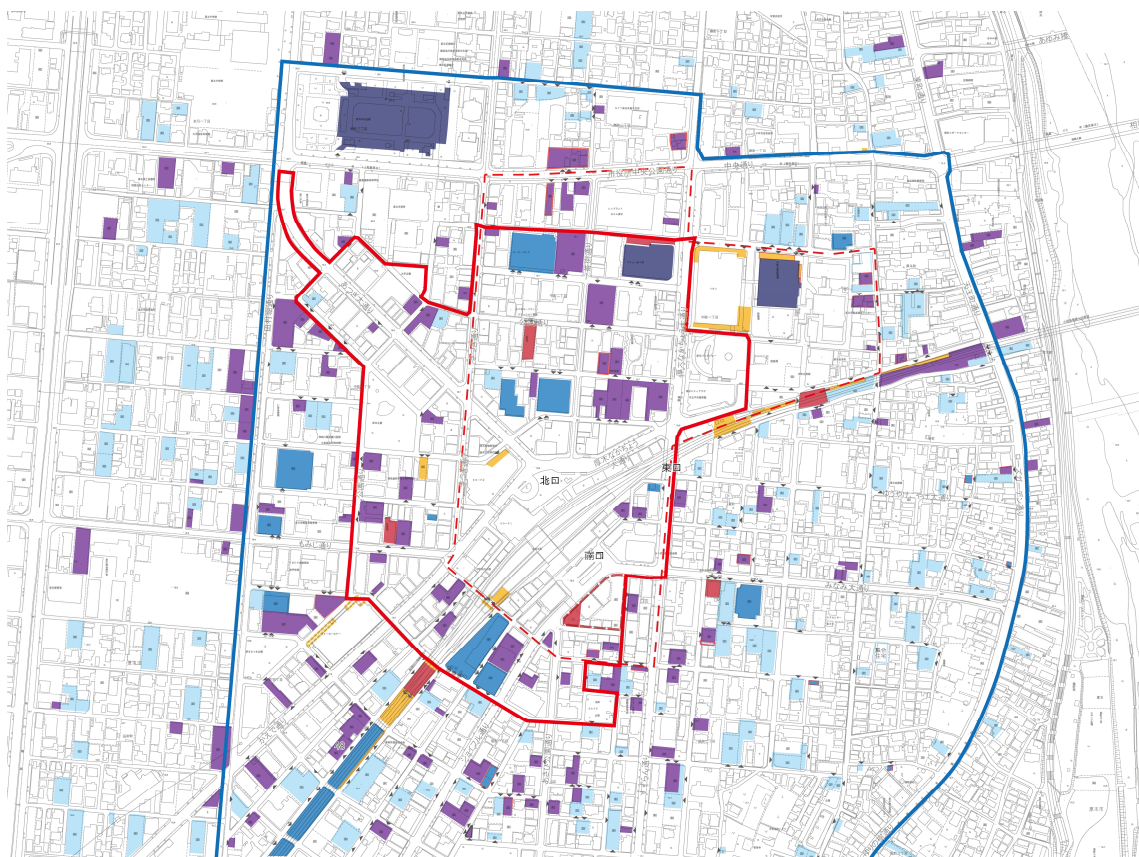
④乗継利便性の低さ【対象：高速バス】

- 本厚木駅や駅前広場、厚木バスセンターから離れており、異なる交通手段の乗継利便性が低くなっています。

⑤利用者と歩行者等との錯そう【対象：路線バス及び高速バス】

(5) 駐車場

- 駐車場整備地区に指定されており、建築物を新築等する際には自動車駐車場の設置が義務付けられています。そのため、敷地や建物ごとに自動車駐車場があり、歩行者との錯そうが発生しています。
- 駅近くに時間貸、その外縁部に月極駐車場が多く立地しています。
- 500 台以上駐車可能な自動車駐車場が2箇所あります。
- 自転車やバイクの駐輪場は、小田急小田原線の高架下を始め、本厚木駅周辺に分散して設置されています。
- 歩行者の安全確保のため、自転車放置禁止区域が指定されています。



自動車

- 公営駐車場
- 民間駐車場 (コインパーキング)
- 民間駐車場 (その他)
- 民間駐車場 (月極)

自転車等

- 市営駐輪場
- 民間駐輪場
- ▲ 駐車場出入口

— 駐車場整備地区

— 自転車放置禁止区域

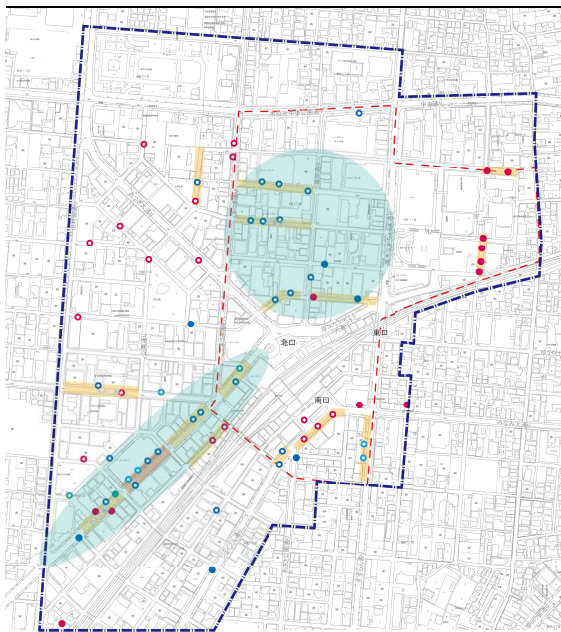
- - - 都市再生緊急整備地域

(6) 路上駐停車

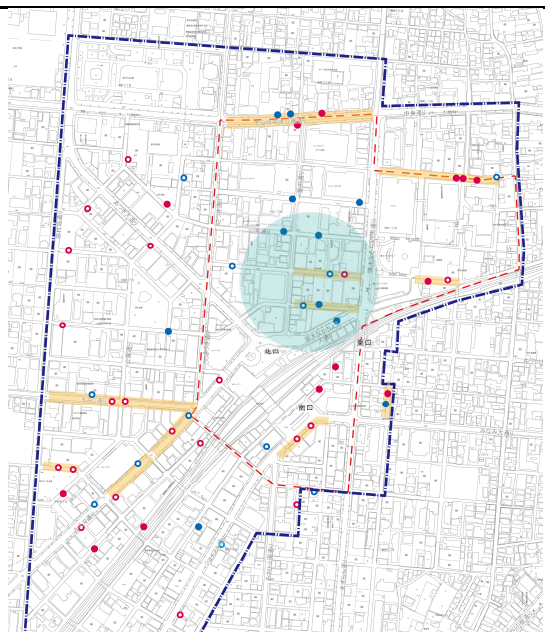
- 平日は、朝と昼に、かえで通りや厚木一番街、厚木バスセンター周辺でトラックやバス、タクシーの路上駐停車が多く発生しています。夕方には、自家用車が増え、特に、あつぎ大通りの周辺で路上駐停車が発生しています。（通り名については、P18 参照）

平 日

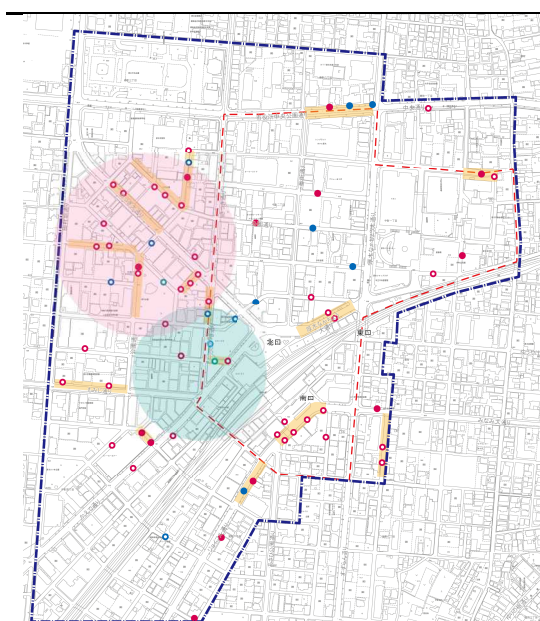
朝（7～9時）



昼（12～14時）



夕（17～19時）



車種

- ○ トラック
- ○ バス
- ○ タクシー

- ○ 自家用車
(●が駐車、○が停車を示す)

駐停車台数

- 1 台
- 2-4 台
- 5 台以上

特に業務車両の駐停車が多い場所

特に乗用車の駐停車が多い場所

—— 駐車場整備地区

- - - 都市再生緊急整備地域

3 その他

(1) 防災

- 災害時の救助活動や物資輸送を円滑に行うため、国道や県道などが道路施設の防災対策を優先的に進める緊急輸送道路に指定されています。
- 災害時に電柱が倒壊し、避難や救助活動の支障とならないように、駅前や厚木一番街を中心に無電柱化が行われています。
- 厚木なかちょう大通り沿いでは、災害時の帰宅困難者を一時的に受け入れる一時滞在施設¹⁶が集中的に指定されています。（通り名については、P18 参照）
- 厚木中央公園や学校などは、災害時に住民が避難できる指定緊急避難場所¹⁷や指定避難所¹⁸に指定されています。



地域防災計画 (H31)、本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画 (H29) 等から作成

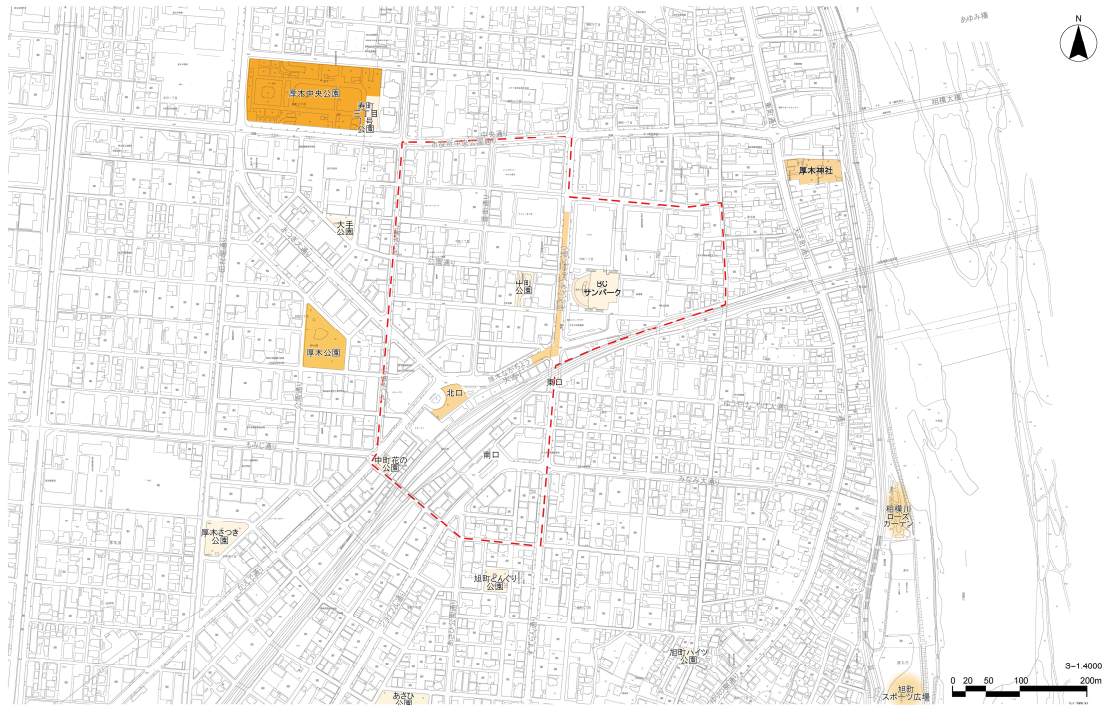
¹⁶ 災害による帰宅困難者を一時的に滞在させる場所

¹⁷ 災害の危険から逃れるため緊急的に避難する場所

¹⁸ 災害の危険があり避難した者や災害により住居に戻れなくなった者を滞在させる場所

(2) 利活用

- 定期的に大規模なイベントが開催されています。特に、厚木中央公園が頻繁に活用されています。
- あつぎ鮎まつりでは、厚木なかちょう大通りを中心に車両の通行を規制し、まちなかの空間を全面的に活用しています。



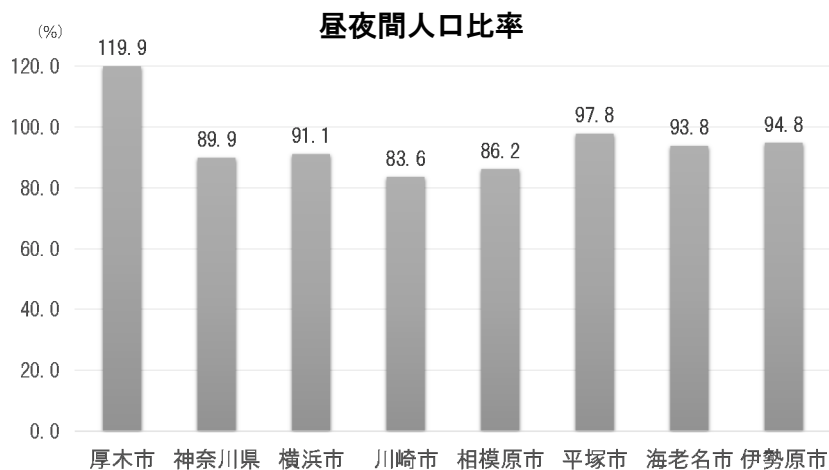
(※色が濃いほど利用頻度が高い)

----- 都市再生緊急整備地域

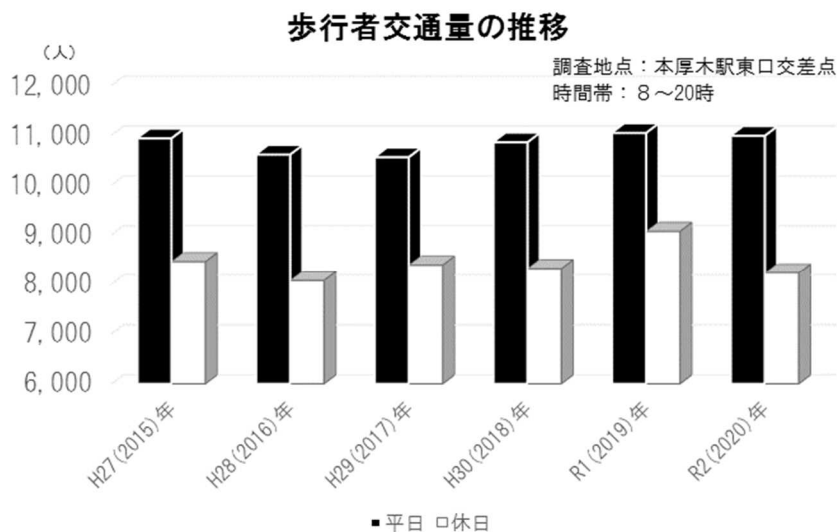
実施場所	大規模イベントの開催状況
まち全体	あつぎ鮎まつり（8月）／あつぎ国際大道芸
厚木中央公園	かながわグルメフェスタ（4月）／緑のまつり（5月）／肉ホルモンフェス（8月 or 9月）／総合防災訓練（9月）／あつぎ環境フェア（9月）／あつぎハロウィーン（9月）／市民ふれあいマーケット（10月・3月）／あつぎミュージックフェスティバル（11月）／農業まつり（11月）
厚木公園	あつぎジャズナイト（8月）／心と街のクリーン作戦（9月）
相模川	六市町村合同クリーンキャンペーン（5月）／相模川ローズガーデンフェスティバル（5月）
北口駅前広場	あつぎウィンターイルミネーション（11月）
地下道	CHiKa フェス（11月）
厚木神社	厚木神社例大祭（7月）

(3)人

- 令和3年度における本厚木駅の一日本乗降客数は、約10.2万人で、小田急線内の駅では7番目に、小田急線内の乗換のない駅では最も乗降客が多い駅となっています。
- 昼夜間人口比率¹⁹は、県内の政令市や同等規模の都市と比較しても高い値を示しており、駅周辺の歩行者は平日の方が多く、駅周辺には通勤通学や業務目的の来訪者が多いと考えられます。
- 依然として客引き行為が発生しており、歩行者に不快感を与えたり、体感治安への影響が懸念されています。



国勢調査(R2)から作成



交通量調査(市商業にぎわい課)から作成

¹⁹ 夜間人口に対する昼間人口の比率

4 本厚木駅周辺の強みと弱み

まちのポテンシャルを踏まえた本厚木駅周辺におけるまちの強みと弱みは、次のとおりです。

まちの強み

まちの弱み

土地利用

①先人が積み上げた都市基盤

- ・土地区画整理事業等による大小様々な都市公園が複数ある。
- ・複数のエリアで都市構造や都市基盤の更新に向けた検討が本格化
- ・豊かな自然環境を有する相模川に近い。

①魅力的なスポットの不足

- ・駅周辺に市外や県外から訪れたい観光名所や施設などが少ない。

交通

②時代に先立つ歩行者中心のまちづくり

- ・昭和 42 年頃から朝夕ピーク時における北口駅前周辺の一般車進入規制【県内唯一】
- ・昭和 47 年頃から厚木一番街を歩行者専用化（7～22 時）
- ・歩道のない道路は一方通行が多く歩行者が安全確認しやすい。

②橋周辺への通過交通の集中

- ・本厚木駅は東京都心部と相模川以西を結ぶ中心に位置し、自動車の往来には相模大橋やあゆみ橋の利用が避けられない。

③市民の移動を支える 2 つの交通結節点

- ・鉄道と路線バスの乗換拠点となる本厚木駅（南北駅前広場を含む。）と厚木バスセンターがある。
- ・市内全域を結ぶ路線バスネットワークがある。（徒歩圏人口カバー率 85%）

③歩きやすさや快適性の低い歩行環境

- ・街路樹による日陰やベンチ等が少ない。
- ・一部の道路に自動車や自転車、歩行者が集中、混在
- ・歩道のない道路で路上駐停車が発生

その他

④非日常のにぎわい

- ・厚木中央公園を中心に、定期的に大規模なイベント開催（官民間わず）

④日常のにぎわい不足

- ・日常的に来訪者がまちなかや沿道店舗に立ち寄りたくなる仕掛けが不足

⑤昼夜間人口比率の高さ

- ・通勤通学や業務を目的とした来訪者が多い。

⑤休日歩行者の少なさ

- ・平日と比べて、休日に本厚木駅周辺を訪れる人が少ない。

車中心から歩行者中心のまちへ
転換する資源や機運の蓄積

歩きたくなる
環境の不足

